

## 1 学校教育目標

・かしこい子      ・思いやりのある子      ・たくましい子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子供たちが輝く学校」</li> <li>・子供一人一人のよさを認め、励まし、可能性を最大限に引き出す学校</li> <li>・教職員が豊かな感性と情熱をもって、学び続ける学校</li> <li>・地域・保護者ととともに、地域愛・学校愛をもった子供たちを育てる学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問いをもち、見通しをもって、学び続ける子</li> <li>・自分や友達のよさを認め合い、励まし合い、高め合える子</li> <li>・夢に向かって、しなやかにたくましく挑戦し続ける子</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供一人一人のよさを認め、励まし、可能性を最大限に引き出す教職員</li> <li>・授業力向上に熱意を注ぐ教師</li> <li>・学校と地域を愛する教職員</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- ・児童は明るく素直である。落ち着いた中にも活気のある姿が多く見られるが、自尊感情が低い傾向がある。
- ・教職員は、若手教員が多い中、よりよい学校を創っていきこうと日々一生懸命努力しており、授業力の向上にも力を注いでいる。
- ・保護者・地域も学校に期待を寄せており、教育活動に協力的である。生活習慣や家庭学習などの定着に向けて、さらに連携を深めていく。

### 【前年度の成果】

#### 重点的な取組事項－1（確かな学力の定着）

- ・学校評価（保護者）の「確かな学力の定着」に関する3項目は99%以上が「よくできている」または「ほぼできている」という結果が出ており、高い評価である。学校生活の中で、「本木5つの約束（学習・生活）」が浸透してきており、児童は落ち着いて学習したり、生活したりしている。
- ・児童の知的好奇心を引き出すために取り組んだ「調べる学習コンクール」は、R1年度68.8%からR2年度約96%と参加率が大きく上昇。

#### 重点的な取組事項－2（思いやりのある、たくましい子の育成）

- ・学校評価（保護者）の「思いやりのある、たくましい子の育成」に関する4項目において、97%以上が「よくできている」または「ほぼできている」という結果が出ており、高い評価である。全学年hyperQUを年2回実施し、一人一人の児童の学級満足度や学級集団として成長度を確認し、個別の支援や学級経営に生かすことができた。また、配慮すべき児童を確認し、教職員全体で情報共有し、支援していく体制が整った。

#### 重点的な取組事項－3（学校・家庭・地域との連携強化）

- ・学校評価（保護者）の「学校・家庭・地域との連携強化」に関する3項目において、94.7%以上が「よくできている」または「ほぼできている」という結果が出ており、高い評価である。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、学校公開を3回実施することができた。

【前年度の課題】

**重点的な取組事項－1（確かな学力の定着）**

- ・児童の基礎・基本の学力定着を図る。特に、個々のつまずきを見付け、学び直しの徹底を図る。
- ・教員の「授業力向上」を図るとともに、児童が安心して自分のよさを発揮できる環境を整える。

**重点的な取組事項－2（思いやりのある、たくましい子の育成）**

- ・年間を通じて児童が体力作りに取り組める体制を整える。
- ・人権教育の視点を意識した教育活動をさらに推進させる。

**重点的な取組事項－3（学校・家庭・地域との連携強化）**

- ・家庭と連携し、基本的な生活習慣や家庭学習の定着を高めていく。

**4 重点的な取組事項**

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン 確かな学力の定着 (学習意欲・基礎基本の力・考える力・授業力)	◎	◎	◎	◎	◎
2	思いやりのある、たくましい子の育成	◎	◎	◎	◎	◎
3	学校・家庭・地域の連携の強化	○	○	○	○	○

**5 令和3年度の重点目標**

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン 確かな学力の定着							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)			コメント・課題	達成度 ◎○△●		
・当該学年での学習内容の確実な定着（区・都・国調査の平均値以上）		区調査2回目達成率 80%以上。	自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業力 向上	全教科	通年	・ICTを活用した授業 ※情報収集・意見交換 への活用も推進する ・授業力向上の研修の計 画と実施	・ICT活用の授業時数 (週案簿点検)  ・教師としての基礎・基本を 身に付けさせる内容の研修 (足立スタンダードの徹底)	・年間70h以上  ・年間10回以上			

2 継続	本木 タイム	全教科	通年 水土	・MIM・単元テスト・区 学力調査過去問などの 問題	・MIM・単元テスト・区学力 調査過去問などの正答率	・MIM29問/70問正解が 80%以上（12月迄） ・単元テストの平均正答 率85%以上（12月迄） ・区学力テスト達成率 80%以上（2回目）			
3 継続	自力解決 タイム	全教科	通年 月火金	・宿題の課題を終えてい ない児童の指導 ・担任が指導・支援が必 要と考える児童の指導	・宿題提出率 ・MIM・単元テスト・区・都・ 国学力テストの正答率など ※校内実施の都・国学力テス トの比較	・宿題提出90%以上 ・MIM29問/70問正解が 80%以上（12月迄） ・単元テストの平均正答 率85%以上			
4 継続	読書 調べる 学習	全教科	通年	・年間で読んだ本の冊数 「読書通帳」に記載 ・「調べる学習コンクール」 参加	・「読書通帳」に記載された本 の冊数・ページ数の合計 ・「調べる学習コンクール」への 参加人数	・学年の目標を達成した児 童の人数50%以上 ・「調べる学習コンクール」への 参加率95%以上			

<b>重点的な取組事項－2</b>		思いやりのある、たくましい子の育成							
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>		<b>達成度</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自己肯定感の向上</li> <li>柔軟性・持久力・投力の向上</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>hyperQU(全学年実施)の要支援群などの児童や学級満足度尺度の改善</li> <li>長座前屈・シャトルラン・投球において、1回目と2回目以降の比較、R2年度とR3年度の比較により改善</li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>					
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>									
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>		<b>具体的な方策</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>		<b>達成度</b>
人権教育の取組と自己肯定感の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業7本</li> <li>hyper-QU 2回実施。前期と比較し、要支援群等の児童等の状況改善</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重教育推進校発表会に向けて、研究授業の充実</li> <li>週1回の教育相談委員会において、hyper-QUの要支援群等の児童などの状況を情報共有し、対応などを周知する。</li> </ul>						

心の教育の重視、 規律順守の徹底	・アンケート実施と状況 改善（8割以上）	・本木小学校の学習・生活の 5つの約束の定期的なアンケ ート実施（年3回予定）			
健康・体力向上	・都（R1）や本校の体力 調査（R2）の記録の比較 平均値の上昇  ・研修3回以上	・「体力アップ記録カード」を 活用し、課題確認と記録更新 のための手立ての実施  ・課題（柔軟性・持久力・投力） 改善のための研修			

<b>重点的な取組事項－3</b>		学校・家庭・地域との連携の強化			
<b>A 今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>	
・学校情報の積極的な発信	・学校評価における満足度80%以上				<b>自己評価の際に記入</b>
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
積極的な情報発信	・HPの「学校生活」の 内容・表現の工夫 ・週2回以上掲載 ・「学年のコーナー」の 内容・表現の工夫	・HPの「学校生活」の内容・ 掲載回数の充実  ・学校便りの「学年のコーナ ー」の内容の充実			
地域と連携した取組	・防災教育・防災訓練の 計画と実施  ・避難所運営会議の実施	・防災教育・防災訓練の実施  ・防災設備の確認と改善			
適正な学校評価に基 づいた、よりよい学 校づくりの推進	・学校評価の保護者・地 域の満足度80%以上	・授業診断・学校評価等を基 に、自己評価書の作成及び学 校関係者評価の実施			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

